まくはり
Baytown News
第 189 号（2013 年 2 月 1 日号）
幕張ベイタウンニュース編集局
http://www.baytown-news.net/

ゴミ空気輸送システム問題（続々報）

ベイタウンニュースからの「一石」

本紙 11 月号で、ゴミ空気輸送システムについての続報を掲載した。要約すると、県企業庁が各番街理事会に対して当該システム維持の赤字問題を説明し、継続のために 1 戸当たり月 1,000 円程度の住民負担を願えないか？と投げ掛け、住民側は幕張ベイタウン協議会が中心となって「事業責任はないのか？」「地代で充当すべきでないか？」「経費削減努力はしているのか？」といった論点をまとめて「質問書」として企業庁に投げかけた、というもの。

その回答が昨年 12 月 12 日にあった。県企業庁・千葉市の回答では、事業責任については一切答えず、「オフィス街の不利用等、事業想定が狂って維持できないので、『ゴミをいつでも捨てられる』という便利さを享受している受益者に負担して欲しい」というものだった（内容は長文だが、本質的にはこう言っていると記者には読めた）。協議会はこの回答に対しさらに問題を指摘し、責任を問う「再質問書」を用意し、その回答を待って議論しようとしている。そのような段階でこの記事を書くべきか悩んだ。しかし、今回の結論はその他の「街灯や道路の敷石等の高品位な街づくり」維持の課題に影響する可能性があり、油断しているとなし崩しで事が進んでしまう危険性を感じた。このため、住民の皆さん自身に再認識してもらう意味でも、敢えて一石を投じたい。

まず、「受益者負担」というが、本当に我々住民は「利益」を得ているのだろうか？我々は、近隣地区に比べると明らかに割高な購入費用と、毎月支払う地代により、家を含めたこの環境を手に入れたはずであり、これは「想定内の権利」ではないか？購入時に「21 世紀の財産となる都市型住宅」「先進・快適」という謳い文句は耳にしたが、その分追加料金を払うことになる、とは一切聞いていない。また千葉市は「特定地域の利便性のために多額の税金投与は難しい」と言うが、住民一人当たりの収入（税収）と支出、という目で見た場合でも、他地区と比べて著しい不均衡となっているのだろうか？同じ論法で街灯も、街路も、電柱のない街並みも「受益者である我々が負担するか、それがいやなら標準仕様であきらめて」となるのだろうか？

また、ここ一連のやり取りを見ていると、企業庁は事業責任を取る気があるようにはとても見えない。どこでも同じだとは思うが、例えば私の勤める会社では「現場主義」という原則があり、誰が事業を始めたとしても、その責任は最後の担当部門の人間が負うことになっている。人事異動の度に責任者不在となるようでは、対外的に事業の責任を取れず、企業としての信用をなくし、ビジネスが継続できなくなるからだ。潰れてしまっては元も子もないが、一度始めたサービスは、必要とする人がいる限り、例え赤字でもやり続けるのが原則だ。

企業庁の担当の方々にはそのような認識はないのだろうか？自分の責任として、何がなんでもやり切ろう、解決しようという気概はないのだろうか？もしあるのなら、「地代が一般会計に入るのでこの事業には充当できなくなる」などとお役人のようなこと（失礼！）を言っていないで、どうすればそれを活用できるのか、法律面を含めてあらゆる手を尽くすべきなのではないか？ベイタウン住民は理性的で比較的豊かな人が多いから、許容してもらえるだろう、と高を括っていないだろうか？言葉は悪いが、時間切れの逃げきりを狙っているのではないだろうか？企業庁は今年度解散するにしても、千葉県という行政単位はほぼ永久に残るだろうから、たとえ時間がかかっても、この問題を住民に投げずに、自らの手で解決して欲しい。

一方、この問題に対する現在のベイタウン協議会のアプローチだが、極めて紳士的に、理詰めで動いているように見える。行政に問題を投げ付けるだけのいわゆる「陳情型の住民活動」でなく、住民自身も汗をかき、資金作りも含めて、行政と一緒に前向きに、新しい形で解決したいという姿勢は良く分かる。しかし、今の進め方でこの問題は解決できるのだろうか？平成 19 年の「幕張新都心住宅地区の管理・運営のあり方に関する研究会」発足以来 6 年の長きに渡って続けてきた住民と行政との関係を無視して、一方的に各街区管理組合向けの説明会を開催したのは企業庁である。この無責任さに対する「怒り」をストレートにぶつけるべきなのではないか？マスコミに訴え、社会問題化させる、集団訴訟を起こす、など考えられないか？先ずは住民が怒っている、許せないということをもっと直接的な態度で示すべきなのではないか？11 月号の街頭インタビューでは、一部「許せない」という人もいたが、「便利さのためにはお金を払ってでも継続して欲しい」という大人の反応も多かった。しかし、改めて問いたい。あなたはこの問題に、怒りを感じませんか？ **【板東】**

※ 協議会および円卓会議の活動詳細については、協議会のホームページ（http://www.bt-machi.com/）参照。

まちづくりシンポジウム開催

1 月 19 日 (土)、ベイタウンコアにおいて、ベイタウンマネジメント円卓会議主催で、円卓会議のこの 1 年の活動成果を住民の皆さんに報告するシンポジウムが開催され、100 名を超える関係者が集った。

ベイタウンマネジメント円卓会議副代表の伊藤さんによる挨拶に始まり、事務局の辻さんから取り組み報告が行われ、続いて 8 月に実施された住民アンケート結果について、アンケート作成／回収／分析に多いに協力してくれた千葉大学大学院工学部工学研究科建築・都市科学専攻中山研究室を代表して小林君からの発表があった。さらに、ベイタウン地区の 4 小中学校の子どもたちの代表による発表があり、小中学生の考える夢の街のポスターの紹介（緑ゆたかな街、笑顔のあふれる街、ふるさとと呼べる街、など、この街に対する思いがいっぱい！）、小中学生自身による円卓会議の成果として、これから取り組みたい活動（クリーン大作戦、あいさつ運動、自慢大会の発展形など）の紹介などが行われた。発表の最後の「自分たちも頑張るので、大人たちも頑張って下さい」には、会場の大人たちは大爆笑。記者も思わず、「はい」と言ってしまっていた。

さらに、コーヒーブレイクをはさんで参加者による意見交換、意見発表が行われ、コーディネーターである NPO 千葉まちづくりサポートセンターの栗原副代表によるまとめの後、円卓会議の遠山代表による「ベイタウンを誰かに任せるのではなく、みんなが参加して意見を出し、協議会や円卓会議が中心になってまちのマネジメントを進めて行きましょう」との言葉で締め括られた。

ベイタウン近郊の気になる開発計画
豊砂地区と若葉住宅地区

コストコ周辺に広がる広大な空き地、豊砂地区そして京葉線を挟んでベイタウンの反対側に広がる若葉住宅地区。現在インフラ工事が行われている両地区の開発状況を企業庁と開発事業者に取材しました。 【城本】

豊砂地区

豊砂地区には、「イオンモール幕張新都心」がオープンすることが決定しています。イオンモールは、複数の店舗を有するショッピングモールです。ショッピングセンターとしての機能に加え、エンターテイメントやコミュニティーの機能も備えています。最大の売りは、職業体験ができる親子カフェパーク「Kandu　Kafe（カンドゥーカフェ）」。3歳から15歳の子どもと保護者を対象としたカフェで、日本では第一号店となります。医師や看護師、自動車の開発など様々な職業をロールプレイで体験でき、疑似通貨の収入を得たり、カフェ内の銀行に預金することもでき、体験用のユニフォームや機材も用意されています。

他にも、注目を集める店舗は多数。ペットのためのホテルや病院、女性にはうれしいエステや温泉施設、マルチシアターやシネマ、カメラや楽器の体験教室もあります。気になるオープン時期ですが、現時点では、2013年下期を予定しています。駐車場は約7,300台分のスペースがあります。

「イオンモール幕張新都心」がオープン予定の豊砂地区は、幕張新都心拡大地区の一部です。美浜区豊砂及び、浜田2丁目にまたがる区域で、広さは約62ヘクタール。今から遡ること約40年前、公有水面埋立によって生まれました。平成元年以降、企業庁が道路等公共施設を順次整備。バブル崩壊後はしばらく空地のままとなっていましたが、平成12年にコストコホールセールジャパン幕張がオープン。平成22年に入り、企業庁と千葉市が「幕張新都心まちづくり及び土地利用促進に関する検討会」を立ち上げ、土地利用事業者を募集しました。数か月後、約19ヘクタール分の土地の事業予定者にイオングループが決定しました。他に、医療保人社団葵会グループのバイオシステム株式会社がコストコの隣のブロックを購入し、現在「東京ベイ先端医療クリニック（仮称）」の建設工事が進められています。

豊砂地区開発が進む中で、新駅設置案が浮上しています。ただし、企業庁側とＪＲ東日本の協議により、建設費を進出企業が全額負担する「請願駅」として事業を進めることになっており、現時点で設置は確定していません。

若葉住宅地区

以前のベイタウンニュースでも取り上げましたが、若葉住宅地区は住宅4000戸、居住人口1万人を想定した街づくりが行われています。現在行われているインフラ整備は今年度末までの完了を目指しており、道路は舗装工事に取りかかっているところです。地区中央に広がる公園部分には、今年度中に植栽が整備される計画です。道路、公園などの公共施設は、整備終了後千葉市へ引き継がれます。千葉市から土地が供給開始されれば、道路や中央の公園等は一般の人が使用可能になります。土地売却開始は平成25年度中を予定しており、開発事業者を企業庁が募集します（写真参照）。

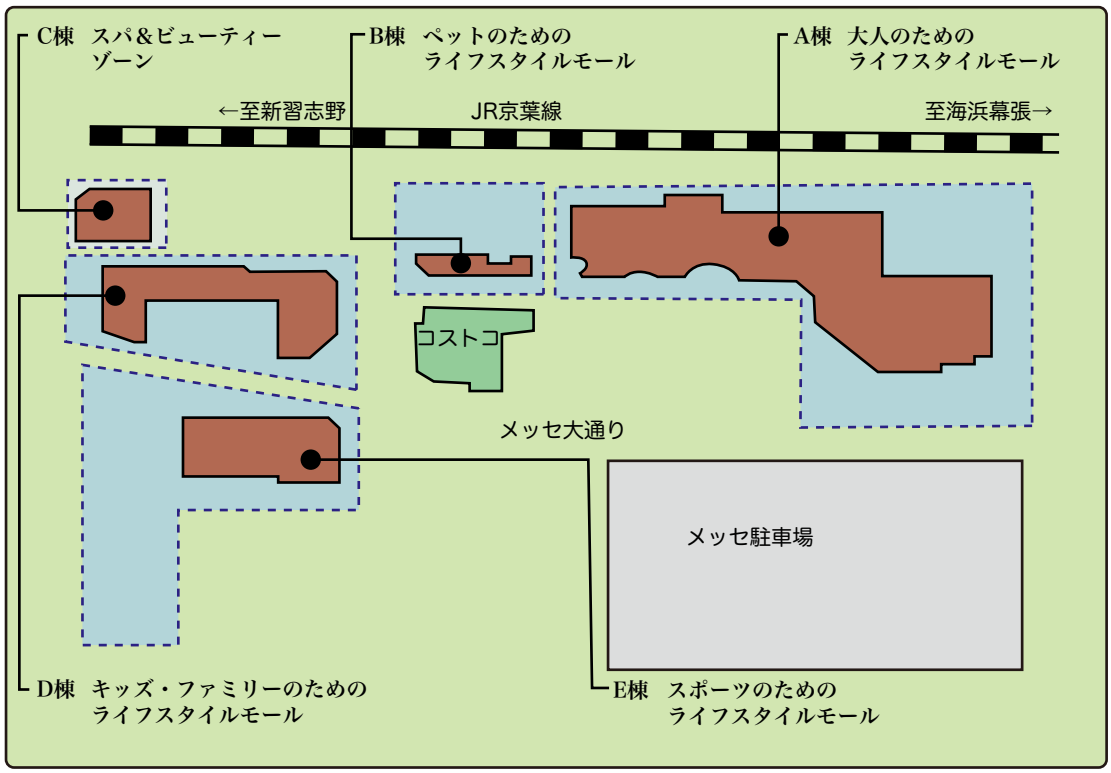
企業庁解体後の地区開発

企業庁は今年度末で幕張新都心を含む土地造成事業に一定の区切りをつけます。平成25年度から3年間は清算期間として企業庁は残り、平成28年度からは後継組織が引き継ぐことになります。後継組織については具体的には決まっていません。若葉住宅地区をこの3年間で全て売却するかも未定です。

開発地区とベイタウン

「イオンモール幕張新都心」がオープンし、若葉住宅地区にあらたな街が完成すれば、ベイタウン周辺の環境は一変します。人の出入り、音、交通事情等、予想できなかった事態が起こり得ます。しかし、両地区の開発は幕張新都心を活気づけ、ベイタウンという街の資産価値をあげることにもつながります。私たちベイタウンの住民も期待と関心を持って開発を見守りたいものですね。

イオンモール開発計画図



A棟　大人のためのライフスタイルモール
憩やスローライフを感じるオシャレな環境で心を満たす大人のためのライフスタイル提案と様々な楽しみ方を提供するモールを計画

B棟　ペットのためのライフスタイルモール
日本最大級の規模とコンテンツ・情報提供機能が集結したペット関連施設を計画

C棟　スパ＆ビューティーゾーン
温泉・サウナ、エステなど、美と健康をテーマとした、温浴施設を計画

D棟　キッズ・ファミリーのためのライフスタイルモール
親子で楽しく学べるテーマパークを始め、キッズを中心とした3世代ファミリーのための、衣食住を含めたキッズ＆エデュテインメントゾーンを計画

E棟　スポーツのためのライフスタイルモール
日本最大級の規模とコンテンツ・情報提供機能が集結した総合スポーツ＆サイクルゾーン、家電ゾーンを計画

新年もちつき大会が今年はちょっと変わりました

いつもと変わらず、今年も最初の連休に青少年育成委員会の「もちつき大会」がコアで開かれました。コアの中庭に臼や杵を並べておもちつき。1000 人もの子どもたちが集まり、大人達に手伝ってもらいながらがんばってもちつきを楽しみました。みなさんも行きましたか。

でも今年はいつもとちょっと違ったこともありましたよ。まずもちつきの日がいつもの日曜日とちがって土曜日になったこと。そしてなんだか今年は学校の先生の姿が多かったなあ、と思った人はいませんか。実はこの２つのことには深い関係があるんですよ。

育成委員会は毎年もちつきは成人式のある連休の２日目の日曜日にすると決めていました。もちつきは準備が大変です。臼や杵というもちつきの道具を用意したりするのも大変ですが、おもちになるお米を洗ったり、あったかい豚汁の準備も大変です。そのためにもちつきの日を日曜日にしておくと、前の日の土曜日はお休みなのでゆっくり準備ができたのです。

ところが街の人にはちょうどいいこの日も学校の先生にはちょっと大変でした。実は先生達はもちつきのお手伝いは「お仕事」ではないんです。学校の活動ではないですからね。でもみんなが楽しみにしている街のもちつき大会です。お仕事ではないけれどみんなと一緒にもちつきができたらいいな、それなら日曜日ではなくて土曜日だったらお手伝いできるんだけどと思っていました。

そこで校長先生が思い切って育成委員会の人に「日曜日ではなくて土曜日にすれば先生が沢山お手伝いできるんですが」とお願いしてみたそうです。

すると育成委員会の人はすぐに相談して、それなら今年は土曜日にしてみましょう、と言ってくれました。準備は大変だけれど先生が沢山来てくれるならその方がいいね、とみんなで決めたそうです。

おかげで今年は若い先生が沢山参加してくれて、もちつきがいつもよりもっと楽しい行事になりました。もちろんこれからももちつきは土曜日にすることになるそうです。

なんでもお話しして相談してみるって大事なことですね。 **【松村守康】**

２月のコア・イベント

２月 16 日（土）わくわくおはなし会　２月の常設おはなし会

わくわくおはなし会　２月の常設おはなし会
日時：２月 16 日　　第３土曜日　　10：30 から
場所：ベイタウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももせひきてね！
予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎
ブログ更新中・見てね＊＊ http://waku.makusta.jp/ ＊＊
お問合せ先：井上　（043-211-0188　wak2@yahoogroups.jp）

２月 23 日（土）寺子屋工作ランド

「紙コマ」をつくろう
日時：２月 23 日　　第４土曜日　　9：30 ～ 11:30
場所：ベイタウン・コア工芸室
持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、クレヨン
参加費：50 円（保険料）

第 112 回ファツィオリの会（コア文化振興基金後援事業）

第 112 回ファツィオリの会
日時：２月 24 日（日）9：30 ～ 11：30
場所：ベイタウン・コア音楽ホール
フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きに来て頂くのは、自由です。
最新の情報は http://www.baytown.ne.jp/core/ をご覧ください。
申込締切：２月 17 日（日）
申込先：TEL & FAX 275-3163（笠原）

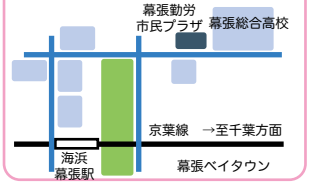
第14回
住宅ローン
無料 個別相談会開催

生涯で大きな支出となる住宅ローンはどこも同じではありません。長期固定返済の場合、1000 万円を超える節約ケースも。これまで海浜幕張エリアで 13 回もの相談会の実績を持つ「ノア・ホーム・コンサルティング（株）」では、専門アドバイザーが多様な住宅ローンを中立公平な立場から評価し、適切にアドバイス。相談会は法人ならではのノウハウと信用、責任に基づき実施するので、約 8 割以上の方が【ローンの見直し・借換えを行い無駄な支出が押さえられました】と大好評です。

なんと！
金利 1% 低下で 5 年間短縮！ 約 720 万円の節約！
※借入額 3,000 万円、返済期間 32 年、借換え費用差し引き後の場合

いずれかの条件に当てはまる方 借り換えをお奨めします
★現在 1.4% 以上の金利
★金利上昇が気になる方
★返済期間残 15 年以上
★月額返済を減らしたい方
★残高 1000 万円以上
★段階金利が気になる方

参加ご希望の方は必ずご予約下さい
千葉市幕張勤労市民プラザ
2/23（土）　13：00～21：00
2/24（日）　13：00～21：00
3/2（土）　17：00～21：00
3/3（日）　13：00～21：00



要予約
300 回以上の実績！
ノア・ホーム・コンサルティング（株）
☎03(3861)8631
平日の 10 時～20 時受付
ノア・ホーム・コンサルティング　検索

ベイタウン　働く女性の仕事６「保育士」

自転車の前後に子どもを乗せ、歌いながら登園している出勤前のお父さん。子どもを預けた後、慌ただしく駅に急ぐスーツ姿のお母さん。そしていつも笑顔で子どもたちの登園を迎えている保育園の先生たち。毎朝通りかかる保育園の前で見かける風景だ。今月は子育てが一段落してから保育士として再び働き始めたＡさんのお話。【金】

東京生まれ、千葉育ちのＡさんは短大卒業後、幼稚園の先生になる夢を叶えるため専門学校に入り直し、幼稚園の先生と保育士の資格を同時に取得した。幼稚園は学校教育施設に分類されるため「幼稚園教諭」免許、保育園は児童福祉施設に分類されるため「保育士」免許になる。２つの免許を同時に取得するため、専門学校での２年間は実習に次ぐ実習の連続でハードな日々を送ったそうだ。幼児教育にかかわりたいと考えている人には、将来の選択肢を広げるためにも、大変だが両方の資格を取っておくことをおすすめするとのこと。

幼稚園教諭時代は一人で 40 人の子どもの担任をしながら、発表会・運動会・作品展などのさまざまな行事に日々追われていた。結婚してからは往復２時間半の通勤時間に加え、大量の持ち帰り仕事と家事の両立が難しくなり、出産を機に退職する。

ベイタウンに住むようになり、子育ても一段落して再び保育の仕事をしたいと思った時、資格を持っていることが役に立った。保育園は子育て経験を積んだ有資格の経験者を歓迎するのだ。13 年間の子育て期間は知らず知らずのうちに保育士として働くための準備期間となったようだ。保育園に子どもを預けて働くお母さんたちの苦労や気持ちなど、独身の時にはわからなかったことが理解できるようになり、子どもの小さな体調の変化にも気づくようになっていた。保育園には保育士だけでなく栄養（調理）師、看護師、事務員などさまざまな役割の人がいるが、独身の若い先生が多い幼稚園に比べ保育士の年齢層にも幅があると感じた。

保育士になるには子どもが好きなことは大前提だが、父兄とはもちろん、スタッフ間でもコミュニケーションがきちんととれることが重要だ。子どもに限らず「人が好き」という人が向いていると思う。子どもの命を預かっている責任感を常に持ち続けることも重要で、ものごとに臨機応変に対応できる能力も必要だ。

毎朝子どもたちの登園を笑顔で迎えてあげるため、常に心も体も健康でいるための体調管理が欠かせない。気持ちにムラがあったり、感情がすぐ顔に表れたりするのも望ましくない。

保育士は、一人ひとり心や身体の成長が異なる０歳から６歳までの子どもたちに対し、それぞれの発達レベルに応じた保育を行っている。つまり子どもたち一人ひとりを理解した細やかなサポートが必要だ。そのためには資格取得のための知識だけでなく、様々な年代層の子どもたちと生活を共にしながら成長の過程のお手伝いをするための幅広い視野が必要になる。子どもたちの小さな成長を共に感じ喜ぶため、ものごとに感動する素直な心や、子どもの良いところ、やる気を引き出すため、他人の良いところを見つける目を持つことも大事だ。保育の仕事に関係するものに限らず、さまざまな分野のアルバイトやボランティアなどを体験して、広い世界を見ておくことが望ましいと思う。今、将来の夢は「幼稚園か保育士」と考えている学生さんも、もう一度復帰しようかと考えている主婦の人にも、子もたちの成長の過程に寄り添って共に歩むことができる保育士の仕事は素晴らしいと胸を張って言える。

「子どものお手本になるくらい完璧な人でなくていいと思います。子どもと一緒につまずきながら成長していける仕事だと思うし、失敗や挫折を経験している人ほど、これから育つ子どもたちに優しさを伝えていけるのではとないかと日々感じています。『みんながこれから歩む人生っていろいろあるけれど、本当に楽しいよ』というメッセージも伝えていけたらと思っています」

神田外語グループ のこども英語教室

神田外語キッズクラブ

神田外語キッズクラブは、言語専門の神田外語大学児童英語教育研究センターとともに長年にわたり研究を重ね、実証してきた研究成果に基づき、楽しみながらも効果的に英語が身に付く教育を行っております。

◎幼稚園児クラス

★右脳が活発に働く時期★

日常の挨拶、天気、色、数の概念など、会話のベースとなる事柄を歌やゲームなどで楽しみながら習得していきます。
また、児童英検のための時間もあり、集中力・語彙力にも強化していきます。またフォニックス教授法により、アルファベットの『名前』を習得します。

◎低学年クラス

★知的好奇心が活発な時期★

身の回りに起こりうる事をテーマにし、自分が～する、というように、日常生活の基本的な動作、出来事を英語で言えるようになります。
またアルファベットの『名前』と『音』を習得します。
児童英検向けのサポートも行います。

☆２つのコースからお選びください☆

Team Teaching コース
外国人講師がメインで授業を進め、理解度を深めるために日本人講師がお子様のサポートをします。外国人講師の発音にも慣れ、お子様達のモチベーションを高め、国際性を育みます。

日本人講師コース
講師は皆バイリンガルで、日本人の子どもの特性や気質を理解し、一人一人を大切にして、細かなケアができます。年２回外国人講師がクラスを訪問し、習っている英語を大いに発揮し自信につなげます。

♪無料体験レッスン開催♪2/12（火）～ 2/28（木）※お子様の年齢やコースにより曜日・時間帯が異なります。お問い合わせください。

♪ご入会特典盛りだくさん♪
①入会金 10,500 円⇒無料！！　②Quo カード 2,000 円分プレゼント！
③教材費割引あり！　④オリジナルリュックプレゼント！
⑤2013 年度カレンダープレゼント！⑥ABC ポスタープレゼント！

お問い合わせ & 体験レッスンのご予約は
TEL：043-273-1610
HP：http://www.kidsclub.co.jp
Email：info@kidsclub.co.jp
不在の場合は本部事務局（0120-154-815）までお電話ください。

KIDS'CLUB